

2004/2005 年度 L-ラーニング学習支援システム研究分科会記録 (第6回) 記録

日 時：平成 17 年 9 月 13 日 (火) 13:00~17:30

場 所：日本女子大学 図書館多目的室

出席者：阿部 (東京歯科大)、池田 (多摩大)、金子 (早稲田大)、高野 (日本女子大)
小田切 (麻布大：記録) <欠席：佐藤 (駒澤大)>

配布物：① 第6回 L-ラーニング学習支援システム研究分科会タイムテーブル
② 2005 年度 L-ラーニング学習支援システム研究分科会予算計画書 (提出済み)
③ 2005 年度研究分科会活動計画 (報告) 書 (提出済み)

1. L-ラーニング出題問題の分類作業

作成済みの 149 問に対する分類作業について、各自が行った分類の集約方法と、システムへの反映方法を検討した結果、次の方法で行うこととなった。

- 分類登録用のインターフェイスを作成し、各自が分類結果を登録する。
- 登録された分類は、自動的にデータベースに反映される様につくる。
- インターフェイスの作成は阿部氏が担当。

2. 体系ページについて

- 当初予定していた参考ページの協同作成は行わず、各自作成中のページをできるだけ充実させることとなった。
- 各体系ページは、現在の掲示板で作業を続行し、最終段階で新システムへ移行する。

3. 新システム (サーバー) への移行について

- 試験ページ、体系ページなどの L-ラーニングページ用のサーバについて検討した結果、構築の時間的制約、ASP の制約等を考慮し、今年度は、東京歯科大学内でサーバ運用を行えるよう申請することとした。
- このページにふさわしいマスコットを作成することとなった。愛称は「エルラ」(表記は未定)。作成担当は高野氏。
- L-ラーニングのページは、xoops で構築することとし、ページ構成を検討した。サーバ設置が認められた場合は、阿部氏が今回の検討案に沿って、基本部分を構築し、次回分科会で詳細を詰める。

➤

<ページ構成案>

- ・RSS (図書館関係公的機関、DB ベンダー)
- ・カレンダー
- ・メニュー
 - ・ 概要
 - ・ 学習ページ (体系ページ)
 - ・ 試験ページ
 - ・ 全分野ランダム試験 (現行システムを継承)
 - ・ 体系ドリル (分野検索から試験へ)
 - ・ 問題の検索 (キーワード検索から試験へ)
- ・リンク

4. 研究成果発表について

- 発表者概要を取りまとめた。
- 発表者は佐藤氏、PC 操作は阿部氏が担当。発表用資料作成は、発表を行う佐藤氏があわせて担当することとした。
- パワーポイントによる発表と、構築したシステムのデモを行うこととし、インターネット接続環境の有無を確認することとなった。

Lラ 発表シナリオ（案）

- 1 Lラ分科会とは（活動内容を含む）
すでに各地で発表に使った資料を池田氏が提供
- 2 試験ページ作成への取り組み
各自が評価（宿題）したものを佐藤氏が分析し、発表内容としてまとめる
- 3 体系的学習ページ
各自が評価（宿題）したものを佐藤氏が分析し、発表内容としてまとめる
- 4 デモ（新ページ）
ここで技術的な要素にもふれる。
- 5 まとめ 今後の課題・次期フェーズへの展望
問題のメンテナンス

5. 次年度（次期フェーズ）について

図書館員向け Wikipedia 的なものへ体系的学習ページ、試験ページを集約するという次期フェーズの方向性について自由討論を行った。主な意見は以下のとおり。

- Xoops を基盤として、図書館員 Wikipedia ばかりでなく、図書館職員の情報基地づくりは、次期フェーズとして検討する価値がある
- 図書館員 Wikipedia という方向性は、学習ページの充実につながるが、今まで作成した問題はそのまま凍結となるのか？
- 問題作成は確かに我々自身にとっても学習になるが、本格的試験ページ構築を一分科会が担当するのは無理がある。別の展開が必要と思える
- 図書館員 Wikipedia そのものを白抜きにして問題にするという方法も考えられる。ただし、採点システムの作成が難しいと考えられる。
- 問題作成はやはり意味があるし、今後も続ける方向性は残しておきたい。例えば、今までと同様に問題を作成し、解説部分を図書館員 Wikipedia へ、あるいはその逆などと発展させることも可能ではないか。

* 次回の分科会開催予定 11月中旬～下旬 日本女子大学図書館